

学発番号: 学18-027  
事業名: 第24回京都CDEの会講習会  
日時: 平成30年9月2日(日)13:30~17:00  
場所: 京都府立医科大学附属図書館 合同講義棟2階  
主 題1: 特別講演(妊婦):「妊娠糖尿病 診断基準改定後の臨床像」  
講 師1: 福本 まりこ 先生(大阪市立総合医療センター 糖尿病内科 担当部長)  
主 題1: 講演(高齢者):「高齢者糖尿病患者の地域とつなぐ支援の実際」  
講 師1: 小林 美保 先生(国立病院機構 京都医療センター 看護師)  
主 題1: 講演(高齢者):「在宅における糖尿病療養者の栄養管理について」  
講 師1: 松木 さなえ 先生(一般社団法人 仁風会 嵯峨野病院 管理栄養士)  
主 題1: 特別講演(思春期):「【子どもさん】からティーンエージャーへ段階に応じた1型糖尿病の自己管理」  
講 師1: 村田 敬 先生(国立病院機構 京都医療センター 糖尿病センター)  
参加数: 総数 129人(京臨技会員:9名)  
報告者: 鈴木泰子 (なぎ辻病院)

以下、講演内容など

今年度第1回目となる京都CDEの会講習会はライフステージ別の療養指導についての講演となりました。

特別講演の2演題では福本まりこ先生から妊娠糖尿病について診断基準改定でどのようなことが変化したのか、それに伴いどのように患者さんと関わっているかなど普段あまり接することが少ない症例についてお話しいただき、村田 敬先生から1型糖尿病の子供たちとの関わり合い方を各年代に応じてお話し頂きました。講演2演題では高齢者患者さんが安全にそして出来るだけ本人の希望にそえるよう職種を超えて連携されているなかの数々の工夫をお話しただけました。自施設のチーム医療だけでなく他施設や他職種の方との情報交換もでき有意義な講習会となりました。